

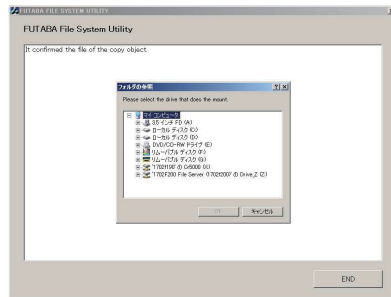


## 2. SD カードへアップデートデータをコピーする。

1. Futaba WEB サイトからダウンロードした T14SG (FX-22 も共通で、T14SG のアップデートデータを使用します。) のアップデートデータを展開 (圧縮ファイルを右クリックして解凍) してください。展開すると以下の 6 個のファイルが作成されます。

- T14sgUpdate.exe
- T14sgUpdate.dat
- T14SG\_UPDATE.dat
- T14SG\_TS.bin
- T14SG\_AP.bin
- T14SG\_UPLD.bin

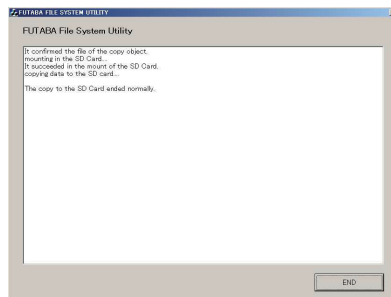
2. さきほどフォーマットした SD カードをパソコンの SD カードリーダーに挿入します。
3. 1. で作成した "T14sgUpdate.exe" を実行してください。以下の画面が表示されます。



4. パソコンの「フォルダの参照」ウィンドウから SD カードをセットしたドライブを選択して、パソコンの「OK」ボタンにカーソルをおきクリックしてください。



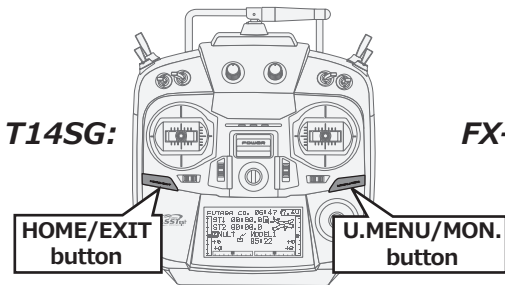
5. コピーが完了すると以下の画面が表示されます。パソコン画面の「END」ボタンにカーソルをおき、クリックして終了してください。



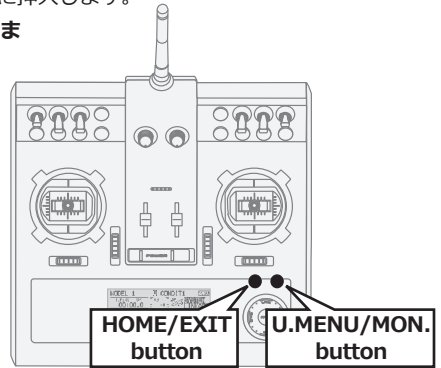
6. エクスプローラーでカードのアイコンを右クリックして「取り出し」を選択し、SD カードを取り出せる状態にしてから SD カードをカードリーダーから取り出してください。

### 3. T14SG/FX-22 をアップデートする。

1. アップデートファイルの入っている SD カードを送信機に挿入します。
2. 送信機の **HOME/EXIT** ボタンを先に押して、**押したまま** 電源スイッチを ON します。



**FX-22:**



3. 数秒後に右の画面がでます。

PROGRAM UPDATE  
START : PUSH MON . 3SEC

4. **U.MENU/MON.** を **3秒間**押し続けるとアップデートがはじまります。しばらくお待ちください。

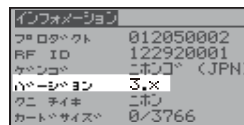
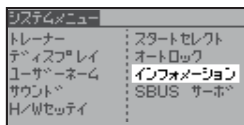
PROGRAM UPDATE  
UP LOADING

5. アップデートが完了すると **"COMPLETED"** がでます。送信機の電源を OFF します。

PROGRAM UPDATE  
COMPLETED

6. SD カードをとりだします。

7. 再度送信機を ON して、**システムメニューのインフォメーション**でバージョンが **3.x** になっているのを確認してください。



# T14SG/FX-22 ソフトウェアアップデート追加・変更内容 (バージョン 3.x)

このソフトウェアアップデートにより、次の機能が追加または変更されます。本セットに付属の取扱説明書を読み替えてご使用ください。

## 1. テレメトリー・ログ機能

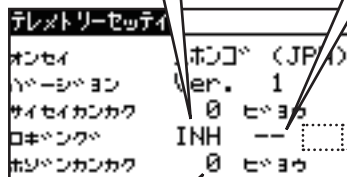
テレメトリーデータを SD カードに記録するログ機能を追加しました。

- ログ開始 / 停止のスイッチを設定することができます。
- ログの出力間隔を設定することができます。

※SDカードからログ・ファイルを取得するには、ファイル・システム・ユーティリティ・ソフト「FFS Ver.3.0」が必要です。

ログ機能のスイッチの表示です。カーソルを合わせ、RTN をタッチすると、スイッチ選択画面に移動します。

ログ機能の ACT/INH 設定



ログの出力間隔を設定することができます。

(0 秒 ~ 100 秒)

※0 秒設定時、約 0.1 秒間隔で記録されます。

ログ機能が動作状態のとき "on" と表示されます。

ログ機能が INH 設定またはスイッチが OFF のときは非表示

### ●操作方法

- ① T14SG/FX-22 でフォーマットされた SD カードを、カードスロットにセットします。
- ② 電源を入れ、ログ開始 / 停止スイッチをオンします。  
ログ・ファイルが作成され、テレメトリー・データの記録を開始します。
- ③ ログ開始 / 停止スイッチをオフします。  
テレメトリー・データの記録を停止します。

### 【注意事項】

- ◆送信機の電源がオンの状態で、SD カードの挿入・抜去は行わないでください。
  - ◆ログ開始時、SD カード上にファイルを作成するのに、約 0.3 秒 (使用する SD カードにより異なる) かかります。  
(ログ開始 / 停止スイッチがオンされても、直ちに記録が開始されません。ファイル作成時間経過後、記録が開始されます。)
  - ◆1 ファイルに最大 6393 回分のデータが記録できます。  
(1 回の記録で、最初の記録開始時点からの経過時間、その時点の CH データとテレメトリー・データが記録されます。)
  - ◆経過時間の単位は「ミリ秒」です。10 ミリ秒刻みで記録されます。  
1 ファイルの最大記録回数を越えて記録する場合、新たにファイルを作成して記録を続けます。  
このとき、ファイル作成に約 0.3 秒 (使用する SD カードにより異なる) かかります。ファイル作成の間の記録は、途絶えます。
  - ◆ログ・ファイルは、ログ開始時、全て同一の「LOG1」のファイル名で記録されます。  
1 ファイルの最大記録回数を越えて記録を継続する場合、継続して作成されるファイルは「LOG2」「LOG3」「LOG4」・・・のファイル名となります。  
(最大「LOG99」まで作成されます。)
  - ◆SD カードにログ・ファイルを作成できる領域が残っていない場合、記録を停止します。
  - ◆ホソノカンカクの設定が 0 ビョウのとき、約 0.1 秒間隔 (使用する SD カードにより異なる) で保存されます。
  - ◆記録中に、モデルセレクト画面にしないでください。
  - ◆SD カードからログ・ファイルを取得するには、FFS Ver.3.0 を使用してください。  
Ver.3.0 より前のバージョンの FFS では、ログ・ファイルに対応していません。  
(FFS の使用方法は、FFS の説明書をご覧ください。)
- ※回転計のログデータ (回転数) には、送信機のギア比またはフィン数の設定が反映されません。  
回転数データに、ギア比またはフィン数を掛け算してください。
- ※高度計の高度データ、GPS の距離、高度データは、ログを開始した時点を目安として出力されます。

## 2. S.BUS サーボ設定機能

S.BUS サーボ設定に、サーボタイプ設定機能を追加しました。

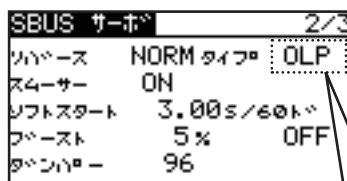
**ノーマル**：通常の動作モードです。

**リトラク**：引込脚用モードです。

送信機からのチャンネル操作が行われず、サーボに負荷が加えられた状態が 30 秒間継続するとデッドバンドを 40° に広げ消費電流を抑えます。送信機からチャンネルを操作するか広げられたデッドバンドを越えてサーボが外力で動かされた場合にデッドバンド拡張が解除され、元の動作に戻ります。

**OLP**：オーバーロードプロテクションモードです。

サーボホーンが負荷により 5 秒間以上ロックした場合に、サーボを保護するためにサーボ出力をオフします。



S3171SB・S9071SB・S9072SB・S9074SB・S9075SB は、「ノーマル」と「リトラク」の変更ができます。

上記以外の S.BUS サーボは、「ノーマル」、「リトラク」、「OLP」の変更ができます。

※ S3171SB・S9071SB・S9072SB・S9074SB・S9075SB は、ノーマルモード及びリトラクトモードのみ対応しています。

## 3. 回転センサー（磁気式）ギヤ比設定値変更

SBS-01RM 回転センサーを使用した場合のギヤ比設定範囲が変更されます。

1.00 ~ 30.00



1.00 ~ 99.00

## 4. テレメトリー通信が途切れた場合の表示変更

受信機からの通信がなにかの原因でとぎれてしまった場合の表示が変更されます。

数値が [ 0 ] か [ ----- ] を表示



**途切れる寸前の数値を表示**

※ Rx バッテリーと EXT デンアツは、通信が途切れると [ 0 ] を表示します。

## 5. 電流センサーのアラーム初期値変更

※ □ べ社製電流センサー F1678 を使用した場合です。

リンケージメニュー→テレメトリー→ヨウリョウ→上限キョウカイチの初期値 : +10,000.0mAh



**+4,000.0mAh**

## 6. 不具合修正

複数のテレメトリー・データの音声出力が設定されており、音声出力の再生時間より長い時間がサイセイカンカクに設定されている場合、音声再生が抜けてしまうテレメトリー・データがあった不具合を修正しました。